

DENON

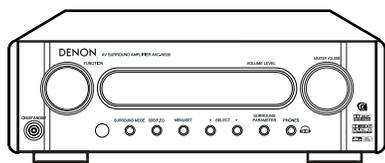
取扱説明書

DHT-M730

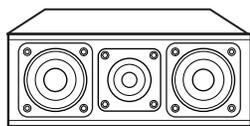
HOME THEATER SYSTEM

ホームシアターシステム

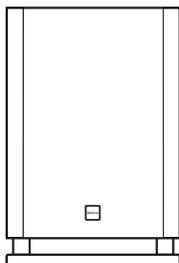
AVサラウンドアンプ
AVC-M330



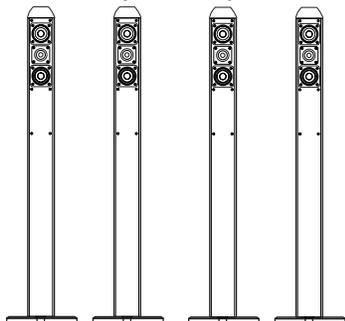
スピーカーシステムパック
SYS-M730



センター用スピーカー
(SC-CM330)



スーパーウーハー
(DSW-M330)



フロント/サラウンド用スピーカー
(SC-TM730)

ホームシアターシステム DHT-M730は、AVサラウンドアンプ (AVC-M330) とスピーカーシステムパック SYS-M730 (フロント/サラウンド用スピーカー (SC-TM730 × 4台)、センター用スピーカー (SC-CM330 × 1台) とスーパーウーハー (DSW-M330 × 1台)) で構成されています。

本機はDENON DHT-M330をベースモデルとし、フロント/サラウンド用スピーカー (SC-TM730) をフロア型とし、低音域の再生を強化することにより、音質をグレードアップさせたモデルです。本書は、ベースモデルであるDHT-M330から異なっているスピーカー部を主に記載しております。従いまして、本体 (AVサラウンドアンプ) 及びリモコン操作に関しましては、ベースモデル DHT-M330と共通になりますので本体部 (AVサラウンドアンプ) に同梱のDHT-M330の取扱説明書に従ってご使用くださいようお願いいたします。

目次

はじめに	1 安全上のご注意 2 ~ 5
	2 取り扱い上のご注意 6 ~ 8
	3 付属品について 8

基本操作	ーホームシアター簡単マニュアルー
	4 簡単にDVDホームシアターを楽しむ 9 ~ 13 スピーカーシステムの接続 10 ~ 13

その他	5 主な仕様 14
-----	-----------------

安全にお使いいただくためにー必ずお守りください。

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保管してください。

1 安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずよくお読みください。

絵表示について この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

[絵表示の例]



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



警告

安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、
電源プラグをすぐに抜く



電源プラグを
コンセント
から抜け

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

内部に異物を入れない



通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

安全上のご注意(つづき)

警告 つづき

安全上お守りいただきたいこと

水が入ったり、濡らしたりしないように



雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。

電源コードは大切に



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

キャビネット(裏ぶた)を外したり、改造したりしない



内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

ご使用は正しい電源電圧で



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら



電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

乾電池は充電しない



電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は



まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない



火災・感電の原因となります。

水場での
使用禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない



こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない



万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意

安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近付けない



コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは



電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となることがあります。

電池を交換する場合は



極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



電源を入れる前には音量を最小にする



突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない



耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する



テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わない



スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

置き場所について

不安定な場所に置かない



ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

次のような場所には置かない



火災・感電の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるようなところ
湿気やほこりの多いところ
直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど、高温になるところ

安全上のご注意(つづき)

注意 つづき

置き場所について

壁や他の機器から少し離して設置する
壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



取り扱いについて

通風孔をふさがない
内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があげてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
仰向けや横倒し、逆さまにする
押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
テーブルクロスをかけた、じゅうたんや布団の上に置いて使用する



この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない
特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



重いものをのせない
機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



移動させる場合は
まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は
安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



お手入れについて

お手入れの際は
安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。



5年に一度は内部の掃除を
販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。



2 取り扱い上のご注意

(1) AVサラウンドアンプ (AVC-M330)

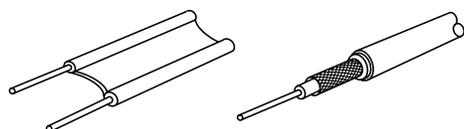
設置の際のご注意

本機やマイクロコンピューターを搭載した電子機器をチューナーやテレビと同時に使用する場合、チューナー・テレビの音声や映像に雑音や画面の乱れが生じることがあります。このような場合には次の点に注意してください。

本機をチューナーやテレビからできるだけ離してください。

チューナーやテレビのアンテナ線を本機の電源コードおよび入出力などの接続コードから離して設置してください。

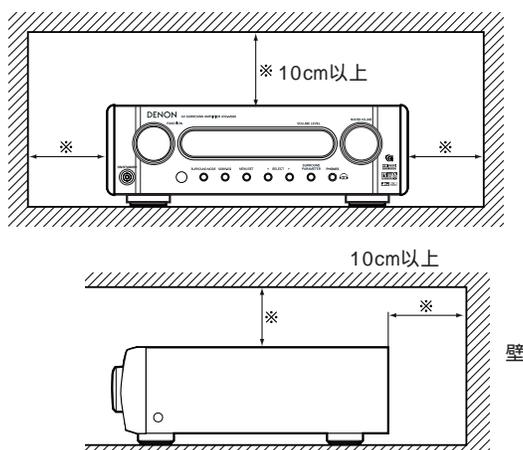
特に室内アンテナや300 フィーダー線をご使用の場合に起こりやすいので、屋外アンテナおよび75 同軸ケーブルのご使用をおすすめします。



300 フィーダー線

75 同軸ケーブル

放熱のため、アンプユニットの天面、後面および両側面と壁や他のAV機器などとは10cm以上離して設置してください。(下図参照)



その他のご注意

入力端子に機器を接続していない状態で入力の切り替えをおこなうと、クリックノイズが発生することがあります。このような場合は、主音量調節つまみを絞るか、入力端子に機器を接続してください。

電源ボタンを押してスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電していますので、外出やご旅行の場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

スピーカー端子には、ミュート回路が組み込まれています。このため、電源投入後数秒間は出力信号が大幅に減衰されます。この動作時に音量を調節しますと、ミュート終了後非常に大きな出力となりますので、音量調節は必ずミュート終了後におこなってください。

説明のためのイラストは、原型と異なる場合があります。

取扱説明書を保存してください。

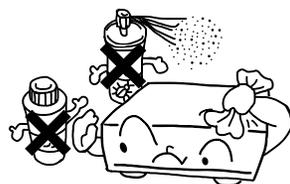
この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保存してください。また、裏表紙の記入欄に必要事項を記入しておくとう便利です。

お手入れについて

キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。



使わないときは

ふだん使わないとき

電源ボタンを押してスタンバイ状態にしてください。

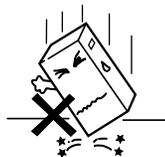
外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



移動させるとき

衝撃を与えないでください。

必ず電源プラグをコンセントから抜いて、接続コードを外したことを確認してからおこなってください。



取り扱い上のご注意 (つづき)

(2) スピーカーシステムパックSYS-M730 (SC-TM730、SC-CM330、DSW-M330)

設置の際は設置場所・設置方法の安全性を十分ご確認ください。

スタンド、ブラケットなどを使用する場合はそれらの説明書に従い、安全性を確認の上ご使用または設置してください。落下によるいかなる損害、事故についても当社はその責を負いません。

設置の際のご注意

スピーカーシステムの音質は、部屋の大きさ・形態(洋室、和室)・設置のしかたによって変わりますので、次のことに留意して設置してください。

スピーカーシステムをレコードプレーヤーと同じ台や棚の上に設置するとハウリングを起こすことがありますので、ご注意ください。

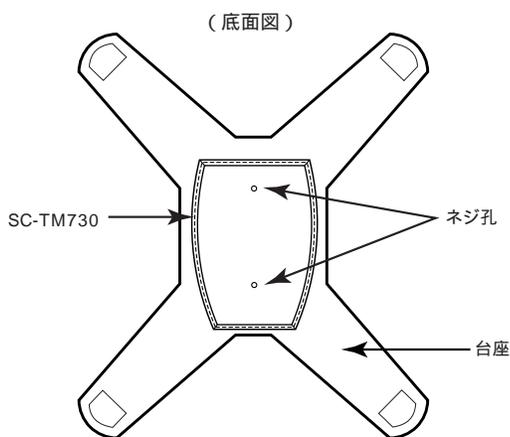
スピーカーシステムの背面や前面に壁やガラス戸などがある場合には、共振や反射を防止するために厚手のカーテンなどを掛けるようにしてください。

スピーカーシステムパック SYS-M730 (SC-TM730、SC-CM330、DSW-M330) はテレビとの近接使用が可能な防磁形スピーカーシステムですが、テレビの種類によっては色むらを生じる場合があります。その場合には一度テレビの電源を切り、15～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁回路により、画面への影響が改善されます。その後も色むらが残るような場合には、スピーカーをさらに離してください。

センター用スピーカー (SC-CM330) は設置する場所によって、前面が上向きまたは下向きになるように設置してください。耳より高い位置に設置する場合は前面が下向きに、床に設置する場合は前面が上向きになるように設置することをおすすめします。付属の台座を下図のように設置し角度を調節してください。

フロント/サラウンド用スピーカー (SC-TM730) は、設置用台座の取り付けが必要となります。台座を取り付ける際には、誤って落としてけがなどしないように、取り付けには十分注意してください。

- ① お手持ちの十字ドライバーを用意してください。
- ② 本体を上下逆さまにします。
- ③ 本体底面のネジ孔 (2カ所) と台座の孔 (2カ所) を合わせ、付属のネジでしっかり締め付けます。



【設置例】



ご注意

安全にお使いいただくため、スピーカーの上に物をのせたり、寄り掛かったりしないでください。スピーカー側面に力が掛かった場合、スピーカーが転倒する恐れがあります。けがなど重大事故の原因になりますので、十分注意してください。



取り扱い上のご注意(つづき)

近くにマグネット(磁石)など磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色むらを発生する場合がありますのでご注意ください。

【例】 ラック、置き台などの扉に装着されたマグネットがあるとき
マグネットを用いた健康器具などが近くに置かれているとき
その他、マグネットを使用した玩具などが近くに置かれているとき

スーパーウーハー(DSW-M330)の上にレコードプレーヤー、DVDプレーヤーなどを置くと針とび、音とびを起すことがあります。このような場合はレコードプレーヤー、DVDプレーヤーを別の場所に設置してください。

長時間直射日光を受ける場所やストーブなどの暖房器具の近くに置くことは避けてください。

湿気の多い場所やホコリの多い場所に置きますと、故障の原因となる場合があります。

ご注意

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

警告

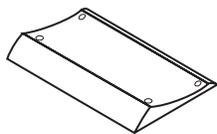
- 天井や壁への取り付けは安全性確保のため、専門施工業者へ依頼してください。
- スピーカー接続コードを足や手に引っ掛けて本機を落下させることのないように、コードは必ず壁などに固定してください。
- 取り付け後は必ず安全性を確認してください。また、その後定期的に落下の可能性がないか安全点検を実施してください。取り付け場所、取り付け方法の不備によるいかなる損害、事故についても当社はいっさいその責を負いません。



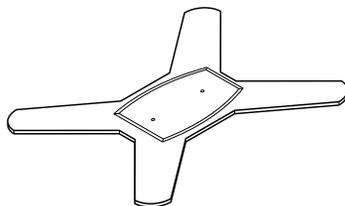
3 付属品について

スピーカーシステムパック(SYS-M730)には、本体とは別に下記の付属品が入っています。ご使用前にご確認ください。

台座(センタースピーカー用)
(SC-CM330) 1個



台座(フロント/サラウンドスピーカー用)(SC-TM730) 4個



台座(フロント/サラウンドスピーカー用)(SC-TM730) 8本
取り付けネジ



取扱説明書(本書) 1冊

- ホームシアター簡単マニュアル -

4 簡単にDVDホームシアターを楽しむ

ご注意

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。接続の際、本機に付属しています接続コード A、Bを使用しますが、接続コードは色別プラグおよびラベルで色分けがされていますので、AVサラウンドアンプのスピーカー端子と同色になるように接続してください。AVサラウンドアンプ背面のスピーカー端子は、付属のスピーカーの接続専用設計されています。これらの端子には、絶対に指定以外の機器を接続しないでください。誤動作を起こすだけでなく、AVサラウンドアンプの故障や火災などの原因にもなります。

電源プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。接続コードと電源コードを一緒に束ねたり、電源トランスの近くに接続コードを設置しますと、ハムや雑音の原因となることがあります。

AVサラウンドアンプには専用の接続コードで専用のスピーカー以外は接続しないでください。通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。

保護回路について

AVサラウンドアンプ (AVC-M330) には保護回路が内蔵されています。これはパワーアンプの出力が誤って短絡された際に大電流が流れたり、非常に大きな出力があった場合に、スピーカーを保護するためにスピーカー出力を遮断します。

また、内部温度が異常に上昇した場合に保護回路が動作し本体を保護します。(温度上昇による保護回路動作時は、ディスプレイのボリューム表示が点滅しスピーカー出力が制限されます。さらに内部温度が上昇した場合、電源がスタンバイになり電源表示インジケーターが赤色に点滅します。)このような場合は、必ずAVサラウンドアンプの電源プラグをコンセントから抜き、接続コードや入力コードの配線に異常がないかを確認の上、AVサラウンドアンプの温度が極端に上がっている場合は、AVサラウンドアンプが冷えるのを待って周囲の通風状態を良くしてからもう一度電源を入れ直してください。

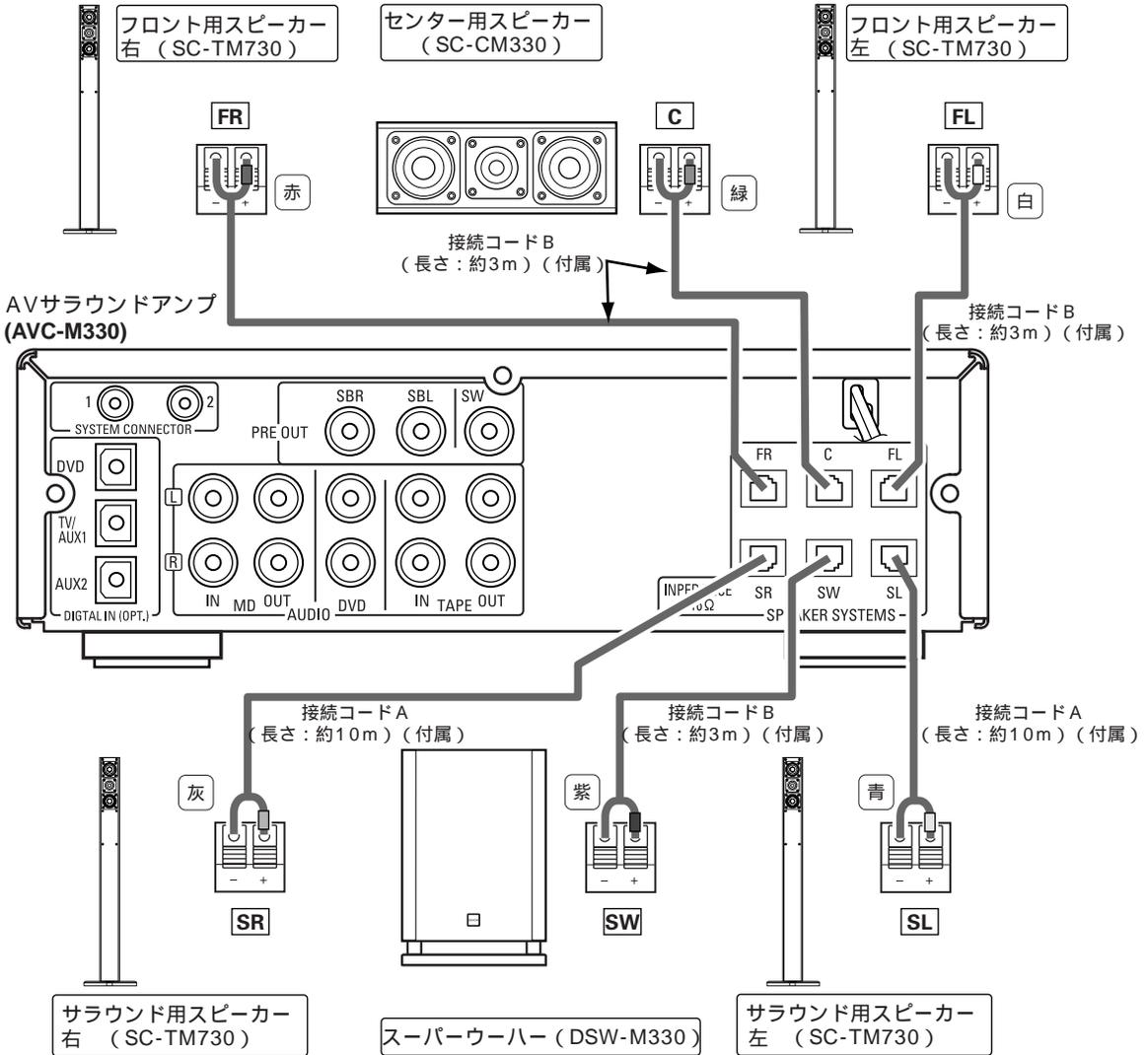
配線やAVサラウンドアンプの周囲の通風に問題がないにも関わらず、保護回路が動作してしまう場合は、AVサラウンドアンプが故障していることも考えられますので、AVサラウンドアンプの電源プラグをコンセントから抜いた上で弊社のお客様相談窓口または修理相談窓口にご連絡ください。

簡単にDVDホームシアターを楽しむ(つづき)

スピーカーシステムの接続

接続の際、本機に付属しています接続コード A、Bを使用しますが、接続コードは色別プラグおよびラベルで色分けがされていますので、AVサラウンドアンプのスピーカー端子と同色になるように接続してください。

付属の接続コードの色ラベル付の方をプラス (+) 側に接続してください。



[スピーカーラベルの説明]

スピーカーを設置する位置に応じて、その色の接続コードを使用して、AVサラウンドアンプと接続します。

DENON

MODEL No. SC-TM730

IMPEDANCE 6Ω
 MAXIMUM INPUT 30W(IEC/EIAJ)
 80W(PEAK)

株式会社 **デンオン** DENON, Ltd.
 MADE IN CHINA

接続コードの色に合わせて、下記に設置してください。
 Locate as a color tag of connected cable indicates below.

FL	FR
SL	SR

白 青 灰 赤

スピーカー設置時のご注意

テレビまたはモニター受像機に近付くとスピーカーの磁気により画面に色ズレが生じることがあります。この場合は影響のない位置に離してください。

簡単にDVDホームシアターを楽しむ(つづき)

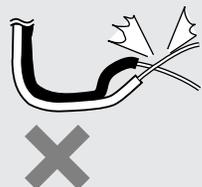
スピーカー端子への接続方法

ご注意

プラス (+) とマイナス (-) を間違えて接続したり、左右のスピーカーを間違えて接続しないでください。

付属の接続コードの表示色の方をプラス (+) 側に接続してください。

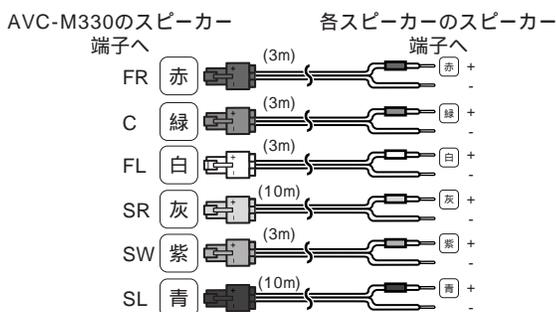
回路の故障を防ぐため、接続コードの芯線のプラスとマイナスまたはL/Rを絶対にショートさせないでください。



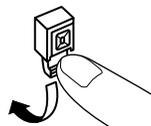
接続の際、本機に付属しています接続コード A、Bを使用しますが、接続コードは色別プラグおよびラベルで色分けがされていますので、AVサ라운드ンプのスピーカー端子と同色になるように接続してください。

付属の接続コードの色ラベル付の方をプラス (+) 側に接続してください。

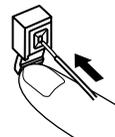
接続コードA (10m) B (3m) は、次のように接続してください。



端子レバーを押し下げます。



コードの芯線を穴の中に差し込みます。

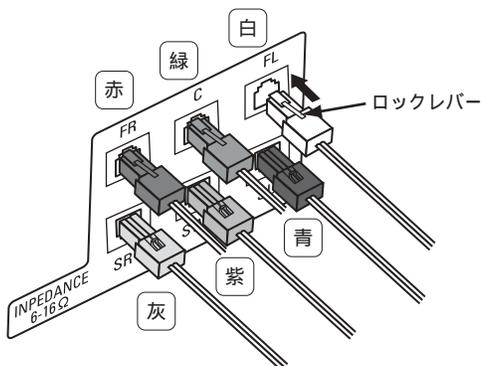


レバーを離します。



接続コードを軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

接続コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。



スピーカー端子の色に合わせて接続します。

プラグは「カチッ」と音がするまで、しっかり奥まで差し込んでください。

赤、緑、白：ロックレバーを上にして差し込む。

灰、紫、青：ロックレバーを下にして差し込む。

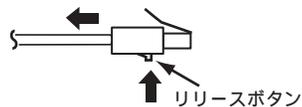
プラグをはずすときは、ロックレバーを押しながら抜きます。

簡単にDVDホームシアターを楽しむ(つづき)

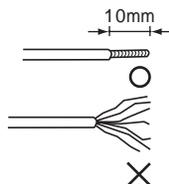
スピーカー接続コードの交換方法

付属の接続コードを延長したい場合など、スピーカー接続コードを交換することができます。

ロックレバーと反対側のリリースボタンを押しながら、コードをプラグから抜きます。



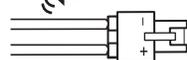
交換するコードの先端の被覆をはがして、先端がばらけないようにしっかりよじります。



リリースボタンを押しながら、コードの極性+と-をプラグの+と-に合わせて芯線を差し込みます。



リリースボタンを離し、コードを軽く引っ張って抜けないことを確認してください。



スピーカー接続コード交換時のご注意

かならずAVサラウンドアンプの電源を切ってからおこなってください。

+と-の芯線がショートしていないことを確認してから、極性をまちがえないように正しく接続して下さい。

本機のスピーカープラグに接続できるスピーカー接続コードの太さは1.2mm程度までです。

リリースボタン側を机など平らな面に押し付けてコードの抜き差しをすると簡単です。

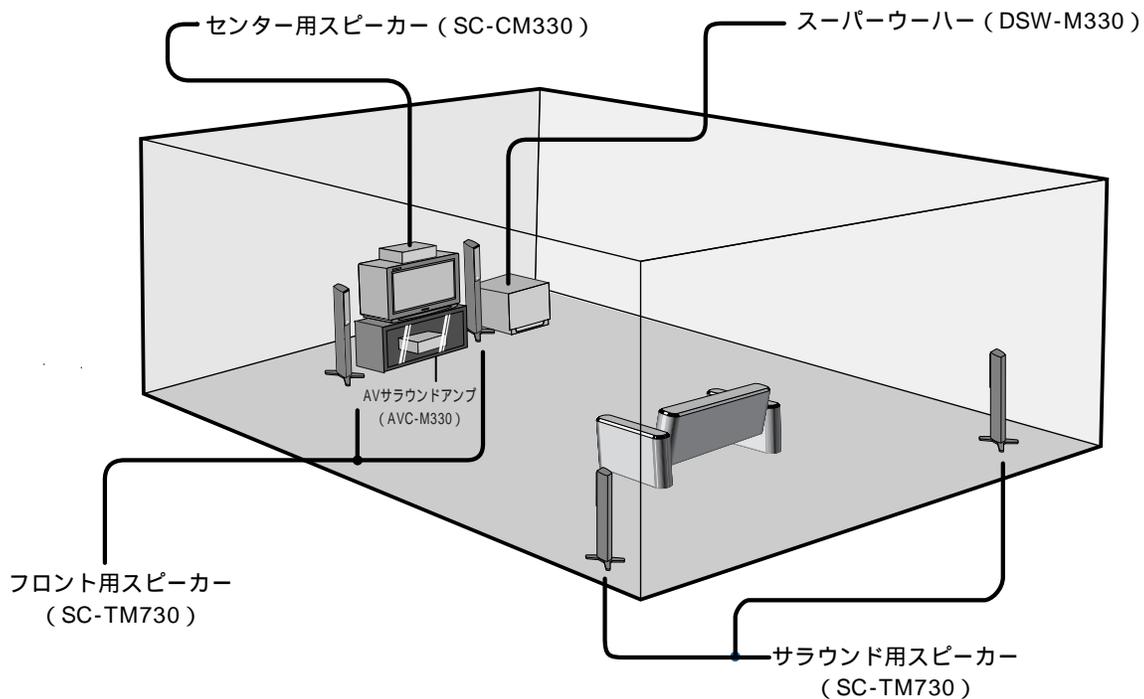
コードの芯線がプラグからはみ出したり、ショートしていないことを確認してから使用してください。

簡単にDVDホームシアターを楽しむ(つづき)

スピーカー設置のしかた

スピーカーシステムのレイアウト (基本的なシステムレイアウト)

スピーカーシステム (6台) とテレビを組み合わせた基本的なシステムレイアウトの例です。



5 主な仕様

スピーカーシステムパックSYS-M730 (SC-TM730、SC-CM330、DSW-M330)

フロント/サラウンド用

スピーカー (SC-TM730)

形 式	2ウェイ・3スピーカー、バスレフ、防磁設計、フロア型、P.P.D.D.
再生周波数帯域	90Hz～20kHz
入力インピーダンス	6
最大許容入力	30W (EIAJ) 80W (PEAK)
クロスオーバー周波数	約10kHz
スピーカーユニット	ウーハー (5.7cmコーン形×2) ツィター (2.5cmバランスドーム形×1)
寸 法	79 (幅) × 900 (高さ) × 133 (奥行き) mm (サラネット、DENONマークを含む) 240 (幅) × 908 (高さ) × 275 (奥行き) mm (サラネット、DENONマークを含む)
質 量	3.3kg (1台当り)(含む台座)

(含む台座)

センター用スピーカー

(SC-CM330)

形 式	2ウェイ・3スピーカー、密閉型、防磁設計、センター
再生周波数帯域	120Hz～20kHz
入力インピーダンス	6
最大許容入力	30W (EIAJ) 80W (PEAK)
クロスオーバー周波数	約10kHz
スピーカーユニット	ウーハー (5.7cmコーン形×2) ツィター (2.5cmバランスドーム形×1)
寸 法	210 (幅) × 79 (高さ) × 133 (奥行き) mm (サラネット、DENONマークを含む)
質 量	1.0kg (1台当り)

スーパーウーハー

(DSW-M330)

形 式	1ウェイ・1スピーカー、バスレフ型、防磁設計
再生周波数帯域	30Hz～240Hz
最大入力	60W (EIAJ)
入力インピーダンス	6
スピーカーユニット	16cmコーン型×1
寸 法	210 (幅) × 322 (高さ) × 304 (奥行き) mm (DENONマークを含む)
質 量	4.9kg (1台当り)

EIAJ：(社)電子情報技術産業協会(略称JEITA)が制定した規格です。

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

『防磁設計』とは、(社)電子情報技術産業協会(略称JEITA)の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

本機は国内仕様です。

必ずAC 100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。
AC 100V以外の電源には絶対に接続しないでください。



メモ

株式会社 **デノン** コンシューマー マーケティング

本 社 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター TEL : (03) 6731-5555

受付時間 9 : 30 ~ 12 : 00、12 : 45 ~ 17 : 30

(弊社休日および祝日を除く、月 ~ 金曜日)

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先 (サービスセンター) については、次の URL でもご確認できます。

<http://denon.jp/info/info02.html>

後日のために記入しておいてください。

購 入 店 名 : 電 話 (- -)

ご購入年月日 : 年 月 日